



## 未来 市制10周年記念に看板寄贈 への発展を願って

市制施行10周年を記念して2月12日、松林久次さん(上岬区)が手彫りの看板を市に寄贈しました。この看板は縦60センチ、横180センチの大きなケヤキの1枚板で、市章や10周年のキャッチフレーズなどが入っています。昨年9月に作成を始め、約5カ月かけて看板を完成させたという松林さんは「御前崎市がより一層発展してほしいと願いを込めた」と作品への思いを語りました。



## 福祉 村岡財団が車いすを寄贈 社増進に役立てて

高齢者の福祉支援活動を行っている村岡財団が2月16日、市保健福祉センターに車いす1台を寄贈しました。今回贈られたのは利用者の体に合わせてパーツの取り外しやシート幅の変更ができる自走式の多機能型車いすで、今後は老人保健施設はまおかで入所者の介護用として使用されます。大橋弘幸センター長は「使い勝手がいい車いすをいただき、ありがたい」と感謝を述べました。

## 力 第10回御前崎市綱引き大会 いっぱい綱を引け!

第10回市綱引き大会が2月15日、浜岡中学校で開催され、地域や職場から16チーム約200人が参加して順位を競いました。一般の部には10チーム、男女混合の部には6チームが参加。1チーム8人のメンバーに熱い声援も加わり、どのチームも全力で綱を引き合いました。

【大会結果】一般の部：優勝 ASAH I (朝比奈地区) 男女混合の部：優勝 ヒッキーズ(比木地区)



## 多 子どもたちに国際交流の機会を 額の寄付に紺綬褒章

昨年6月に市へ2000万円の寄付をされた(株)望月塗工代表取締役の望月勲さんに2月26日、石原市長から紺綬褒章の褒状が手渡されました。紺綬褒章は公益のために多額の寄付をされた個人や団体に国から授与されます。望月さんは「子どもたちは財産、国際港を持つ地元の子もたちが国際化に対応できるよう人材育成に力を入れてほしい」と次世代を担う子どもたちへの思いを語りました。